

代々木地区駐車場整備計画（案）に関するパブリックコメント実施結果

□実施期間

令和2年11月2日（月）から令和2年12月1日（火）まで

□提出件数

意見総数：6件

※複数のご意見をお寄せいただいたものがあるため、意見総数と提出者の合計人数は一致しません。

提出方法	人数
郵送	
持参	
ファックス	
電子メール	1
区公式LINE	3
合計	4

代々木地区駐車場整備計画（案）に関するパブリックコメント実施結果

【提出された意見及び区の考え方】

■ 駐車場整備計画について

意見概要	区の考え方
この計画は本当に必要なのでしょうか。	代々木駅・新宿駅周辺の適正な駐車施設の確保に取り組み、路上駐車などの駐車課題の解決を図るため、適正な駐車施設の誘導を図る計画を設けることが必要と考えています。
新宿、代々木と、鉄道路線が集中しているエリアにそこまで駐車場が必要かという点が気になる。新宿駅南口の混雑はニューマンのビルによってやや緩和されたものの、駅近くに駐車場ができることで渋滞も起きやすくなるのではないか。	駐車施策に関する基本方針では、駐車場地域ルールを導入により駐車場の集約化を図り、また、交通の影響の少ない道路に駐車場の出入口を誘導するなど、円滑な交通を確保することとしています。
大規模開発に伴う駐車場等の整備について、身障者だけでなく、子連れや高齢者連れの世帯でも使いやすい真のバリアフリーをめざしてほしい。路上駐車問題の解決も、隣駅まで歩けない、自転車で行けない人の交通手段をどうするかを考えないと解決しないように思う。近辺の個人病院には、駐車場や一時的に車を止めておくスペースすらなく、子どもや高齢者の急な通院に対応できない。スーパーや区民施設には駐輪場も駐車場もない。その辺りも解消されることを期待する。	ご指摘のとおり、誰もが利用しやすいバリアフリーな駐車場を整備していくことは大切だと認識しております。 →p7：路外駐車場の整備に関する基本方針、p13：駐車場の整備に関する施策にユニバーサルデザインについて追記 また、路外駐車場に関する基本方針では、将来的にコインパーキングが減少すれば、路上駐車が増加されることが懸念されるため、民間開発事業に合わせた路外駐車場の整備を推進することとしています。

代々木地区駐車場整備計画（案）に関するパブリックコメント実施結果

【提出された意見及び区の考え方】

■ その他

意見概要	区の考え方
<p>駐車場の整備に関する施策の②路上駐車対策、タクシー乗降場等の確保について、待機タクシーによる駅周辺交通の混雑解消を図るだけでなく、UD（ユニバーサルデザイン）タクシーの車イス用スロープを使って乗降できる乗降場のスペース確保も、施策としてぜひ入れてほしい。</p> <p>理由：UDタクシーの普及が進み、しばしば利用する。 運転手に聞くと、訓練した人でもスロープを出すのに5～10分、人によっては20分かかると言われ、歩道を占領することやタクシー乗降場で順番待ちしている人をお待たせすることが憚られ、未だスロープを利用したことがなく普通に乗降している。 運転手が訓練を積んでも、歩道にスロープを出せば歩行者の邪魔をすることになるので、気兼ねなくUDタクシーのスロープを利用できるスペースがなければ、UDタクシー普及の意味がない。</p>	<p>今後の駐車場施策実施の参考とさせていただきます。 また、誰もが利用しやすいバリアフリーな駐車場を整備していくことは大切だと認識しております。 →P7：路外駐車場の整備に関する基本方針、P13：駐車場の整備に関する施策にユニバーサルデザインについて追記</p>
<p>マンションの駐車場に関して。 今後、マンション内駐車場の増減をどうするかも悩ましいが、大規模修繕の際における、今契約している自動車の移動先にかなり頭を悩ませる。 近場にある駐車場は、子連れには止めにくい小さなスペース、背の高いタイプの車両は駐車できない、入出庫の時間が限られており介護や老人の世話などで深夜早朝などで車を使う可能性がある家庭には不向きである。</p>	<p>今後の駐車場施策実施の参考とさせていただきます。</p>

【提出された意見及び区の考え方】

■ その他

意見概要	区の考え方
<p>マンション内の駐車場は立体駐車場となっており、子連れ世帯や高齢者の送迎が必要な世帯の車両に対応できるスペースが少ない。駐車場設置台数を減らせばそのようなスペースを生み出すことは可能かもしれないが、総数が不足するかもしれないという懸念がある。行政と企業と各マンションの管理組合が一緒になって、大規模修繕の際の駐車場問題を補い合うシステムがあると良い。</p>	<p>今後の駐車場施策実施の参考とさせていただきます。</p>